TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

真実のベル　相続
ガラテヤの信徒への手紙３

2023年1月14日&15日
ジェシー・セザリオ 牧師

今日参加されている皆さん、TBC ウェストトウキョウ、TBC 三郷、スヴァバプテスト教会、トンガバプテスト教会の皆さん、おはようございます。神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの恵みが、今日、皆さんと共にありますように。
今日は、ガラテヤの信徒への手紙から、シリーズ**「真実のベル」**を続けます。今日のタイトルにもありますように、**「相続」**についてお話しします。

まずはお祈りしましょう。ガラテヤの信徒たちに語りかけられたように、私たちにも聖霊が語ってくれますように。

ガラテヤの信徒への手紙 3:1-5
1 ああ、愚かなガラテヤの人たち、十字架につけられたイエス・キリストが、あなたがたの目の前にはっきりと示されたのに、誰があなたがたを惑わしたのか。2 あなたがたにこれだけは聞いておきたい。あなたがたが霊を受けたのは、律法を行ったからですか。それとも、信仰に聞き従ったからですか。3 あなたがたは、どこまで愚かなのですか。霊で始めたのに、今、肉で仕上げようとするのですか。4 あれほどのことを体験したのは、無駄だったのでしょうか。そうしようとしているなら、本当に無駄になってしまいます。5 神があなたがたに霊を授け、あなたがたの間で奇跡を行われたのは、あなたがたが律法を行ったからですか、それとも信仰に聞き従ったからですか。

だまされないで！
「ああ、愚かなガラテヤの人たち」と始まりますが、これはショッキングです！これに対してどう対応すればよいのでしょうか。聖書の勉強をする時、自分自身にこのように問いかけてみてください。**「聖書の中で注意すべき過ちはあるのか？」もしくは、「避けるべき過ちは何なのだろうか？」**
パウロがガラテヤの信徒たちを、間違ったグループの人々の信仰に聞き従っている**「愚かなガラテヤの人たち」**と批判しています。深刻な過ちがここに起きていたのです。これを読んだ私たちは、パウロが発した注意や警告を自分のこととして受け入れる必要があります。自分の心の中を、聖霊に吟味してもらい、「神様、私はパウロが語るガラテヤの人々のように、偽の福音を伝道する先生に先導されていませんか。私は、真実の福音を伝道する人々の教え、彼らが発する You Tube やポッドキャスト、著書に従っていますか。偽の福音は危険です。それがどこへ導くのか知っていますか。**「主よ、私はあなたを信じます」**と言っても、いざイエスの御前に出れば、イエスは彼らに恐ろしい言葉を語るでしょう。
マタイによる福音書 7:23　あなたがたのことは全然知らない
偽の福音に従うと、危険な結末に直面することになります。

では、どうすれば、そうならずに済むのでしょうか。答えは明確です。偽の福音に惑わされ、それを教える人々について行かないことです。皆さん簡単にわかるでしょう。簡単なことですから。しかし、どうすればそれを実践できるのでしょう。ここが難しいところです。伝道している人が真の福音を語っているか、どうすれば確信が持てるのでしょう。

ここで、ある聖書の先生であり牧師である人が語った実例をご紹介します。彼は、人生において深刻な罪を犯している人でも奇跡を起こすことができると語っています。そのような人に彼は、教えを説いてもらい、後にその人の伝道活動にも参加したと言っています。
それを聞いた時、私はそんなことがあるのだろうか？と耳を疑いながら話を聞いていました。聖書には、人は深刻な罪を犯してなお神に認められる、またそのような人に従ってもよいと記されているのだろうか？私は事実確認をしました。
特別な能力に対するイエス・キリストの言葉をよく聞いて下さい。

マタイによる福音書 7:22-23
22 その日には、大勢の者が私に、『主よ、主よ、私たちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をたくさん行ったではありませんか』と言うであろう。23 その時、私は彼らにこう宣告しよう。『あなたがたのことは全然知らない。不法を働く者ども、私から離れ去れ。』

その人がイエス・キリストを信じ、真の福音を信仰しているかどうかは、霊的な能力を持ち、奇跡を起こせることが基準にはなりません。イエス・キリストはその人の持つ、聖霊の果実に目を向けなさいと言っています。奇跡を起こし、特別な能力を持っていることで、その人が真実を語る先生だとは言えないのです。その人の内にある聖霊の果実を見なければいけません。パウロはガラテヤの信徒への手紙の中で、その果実が何であるか語っています。
ガラテヤの信徒への手紙 5:22-23
22 これに対し、霊の結ぶ実は、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、23 柔和、節制であり、これらを否定する律法はありません。

パウロはここで、**「複数の果実」**と言わずに**「霊の結ぶ実」**と言っています。これはどういう意味かわかりますか。また、全ての実をある程度、身につけている必要があるということです。なぜならば、それらは一つの果実だからです。

ただ、人の素質を成績表のようにあれこれとチェックして、伝道活動からそれを理由に排除したりしないように、気をつけなければいけません。ガラテヤの信徒への手紙の2章でもありましたが、ペテロですらいくつかの過ちを犯し、パウロに公然と非難される場面がありました。道を外れてしまった人に対しては必ず、再生の道がありました。
私たちは実を結ぶ必要があるのです。では、どのようにして実を結ぶのでしょうか。
ヤコブが語るように、肉の欲望が定着して罪を生み出す前に、それを十字架にかける必要があります。
霊の中に生まれたのであれば、霊の中で生き続ける必要があります。
そのためにはどうすればよいのでしょうか。私たちは肉にあって死ななければいけません。なぜならば、自分が肉に住まうのではなく、イエス・キリストの霊が中に生き続けるからです。イエス・キリストの霊の中にあって生き続けていくのです。

もしも次のような状況に陥ってしまったらどうすればいいのでしょうか。
・婚姻外で性的関係を持つ欲望…その欲望を十字架にかけて下さい。
・怒り…十字架にかけます。憎悪の代わりに真実の愛がその人の中に宿りますように。
・嫉妬や妬み…十字架にかけます。誠実の霊が宿りますように。
・怒り…十字架にかけ、平和のうちに宿って下さい。

・お酒に溺れたくなったら…十字架にかけ、節制と喜びが宿りますように。
十字架にかける度に、イエス・キリストの霊が自分の中で働いてくれるように祈って下さい。「**そんなの無理！止められない！**」と思っても、祈ることをやめず、大きな声を上げて祈っても構いません。自分の罪を十字架に架けて、イエス・キリストが生きて自分の中で働いて下さいとお願いして下さい。
私たちは最後の審判の時、神様の御前で、今まで自分が犯した罪に対して判決を言い渡されます。欲望に負けて犯した罪に対する判決が下されます。聖書には、私たちは皆、罪を犯し審判が下されると書かれてあります。人の一生は虚栄であり、それが私たちの呪いなのです。イエス・キリストの十字架上の死がどのようにして、この世を救うことができたのでしょうか。罪の結果は死であり、それは私たちの呪いなのです。
私たちはなんて愚かなのでしょう。誰が死んだ体から私たちを救ってくれるのでしょうか。

法の費用から逃れる

ガラテヤの信徒への手紙 3:8-10

8 聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを見越して、「すべての異邦人があなたによって祝福される」という福音をアブラハムに予告しました。9 それで、信仰による人々は、信仰の人アブラハムと共に祝福されるのです。10 律法の行いによる人々は皆、呪いの下にあります。「律法の書に書いてあるすべてのことを守らず、これを行わない者は皆、呪われる」と書いてあるからです。

6 節でパウロは、神の約束のタイミングについて歴史的な論争を生みます。パウロは、神がアブラハムに彼の子孫に恵みを与えると約束した、と言っています。この約束は、聖書の中でも有名な約束で、**創世記 12:1-3** に記されています。

1 主はアブラムに言われた。「あなたは生まれた地と親族、父の家を離れ／私が示す地に行きなさい。2 私はあなたを大いなる国民とし、祝福し／あなたの名を大いなるものとする。／あなたは祝福の基となる。3 あなたを祝福する人を私は祝福し／あなたを呪う人を私は呪う。／地上のすべての氏族は／あなたによって祝福される。」

アブラハムはこの契約上の約束を信仰を持って結びました。ただパウロが記したとおり一つ問題があります。この約束はアブラハムの子ども達のためではなく、その子孫であるイエス・キリストに対して与えられたものだということです。アブラハムの祝福は、その 1 人の子孫の上、つまりイエス・キリストに与えられ、全てはイエス・キリストの肩の上に落ちるのです。
なぜたった 1 人のイエス・キリストの死が、私たち全ての者の罪を償ってくれるのか、理解しがたい気持ちもよくわかります。私はこの質問を何度も受けたことがあります。どうしたら、何十億人もの人々の罪を、たった 1 人で償うことができるのでしょうか？
その理由は、彼が受けた相続にあるのです。そのスケールの大きさを理解するのは難しいでしょう。
イエス・キリストは王であり、普通の王とは違うのです。彼は王の中の王であり、王国の中の王国に君臨しており、彼の王国は永遠に不滅なのです。
私たちが受け取る相続は、永遠に不滅の王国で生き続けることですが、その永遠王国は私たち全員で分けても十分なくらい大きな王国なのです。私たちはみな部分的にその永遠の王国を相続しているのです。それが約束です。イエス・キリストが十字架上で償ってくださった罪の代償は、私たちだけではなく、全世界の信じる者全てのためのものです。偉大な十字架と相続が私たちを呪いから解き放ってくれたのです。神を褒め讃えます！この相続は私たちには十分なのです。
ここでお尋ねします。あなたはこのすばらしい相続を受け取りますか？イエス・キリストをあなたの救い主として受け入れますか。イエス・キリストが十字架上で死に、その後、埋葬され、復活されたということを信じれば、イエス・キリストの霊があなたの内に働き、神の王国で永遠に生きるのです。これは、アブラハムの子孫、神の子ども達に与えられた祝福の中の祝福なのです。この約束に生き、アブラハムの子ども、すなわち神の子どもになるということは、真実の福音に基づく信仰に生きることなのです。信仰に基づき生きる子どもたちこそが真実の子どもなのです。

真実を操作することはできない

ガラテヤの信徒への手紙 3:11-14

11 律法によっては、誰も神の前で義とされないことは明らかです。なぜなら、「正しい者は信仰によって生きる」からです。12 しかし律法は、信仰をよりどころにしていません。「律法の掟を行う者は、その掟によって生きる」のです。13 キリストは、私たちのために呪いとなって、私たちを律法の呪いから贖い出してくださいました。「木に掛けられた者は皆、呪われている」と書いてあるからです。14 それは、アブラハムに与えられた祝福が、キリスト・イエスにおいて異邦人に及ぶためであり、また、私たちが、約束された霊を信仰によって受けるためでした。

ガラテヤの信徒たちはこの教えに苦しんでいました。信仰のみに生きることで神の恵みを受け取る、という神の偉大なる約束の理解に苦しんでいたのです。きっと何か他にもあるに違いない、と思っていました。それはどうしてでしょう。それはこの世のものは全て、タダではないからです。人生はそんなに甘くありませんから。ただ信じるだけで呪いが祝福に変わるなんて、ちょっと信じ難いはずです。

最近、我が家のティーネージャーの息子で、クレジットカードを持たない彼宛に大きな荷物が届きました。私はクリスマスプレゼントか何かだと思っていました。箱を開けると、その中には泥だらけの野菜が入っていました。キャベツ、大根、人参、玉葱、などなど。私は、息子にこの野菜を購入するお金をどこで手に入れたのか尋ねました。すると息子は、農家の前を通った時に、自分の名前を伝えたらくれたのだと言いました。私と妻の安奈は信じられませんでした。全てがタダだなんて！私たち家族はしばらくの間、喜んでこの野菜を頂くことができました。
私たちの反応は最もだと言えます。なぜならば、何か支払ってはじめて何かをもらうことができるからです。私たちは、そのような経験に基づいて生きてきましたから、頭の中もそのような考え方になっているのです。何らかの条件を満たして、その報酬を受ける資格がある、という考え方を持っています。これをしたから、これが与えられる。人生とはそういうものなのです。タダなものなど、どこにもありません。りんごが欲しければ、まずお金を払わなければいけないのです。

パウロがここで、「**これを手に入れる為、これをするのだ**」といった生き方は負けにつながる、システムの呪いに遭うと言っています。この生き方は、あなたのすること全てに影響します。あなたの人間関係に歪みを生み出します。どういう意味か分かりますか？呪われるのは、あなただけではなく、あなた自身も呪いの一部になってしまうのです。あなた自身が呪いをもたらし、周りに広めることになるのです。あなたが触れるもの全てが呪われるのです。
イエス・キリストはこれを善きサマリア人のたとえ話で語っています。道端で強盗に襲われ死にかかっている犠牲者の横を3人の男が通りかかります。1 人目は祭司。祭司は律法を最も厳格に守ろうとし、律法に従ってさえいれば神は喜び受け入れて下さると信じていました。間違えを犯してしまえば、もはや神に受け入れられないと信じていたのです。神に受け入れられるには、清くなければいけないということから、祭司は犠牲者に近寄ろうともせず、見て見ぬふりをして通ります。祭司は呪いの中にいて、呪いを広めていると言えます。 2 人目の通行人はレビ人でした。レビ人は祭司ほど律法を厳格に守らなければならない人でもありませんでしたが、祭司と同じ行動を取ります。呪いはレビ人を通しても広まることになりました。神に受け入れてもらうには、これをして、あれをしてはいけない、と律法に縛られているからです。そこへ、

イエスが教える慈悲の心を持ったサマリア人が通りかかり、助けを必要とする犠牲者に救いの手を差しのべます。神の愛をこの汚いサマリア人が実践で示し、恵みを与えたのです。
使徒言行録2章の中に、初期の教会がどのように生きていたかが記されています。

使徒言行録 2: 44-45

44 信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、45 財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。

初期の教会は、この世が教える律法とは真逆のことを行なっていたのです。何故そのようなことができたのでしょうか。それは、心の底から神の約束を信じていたからです。犠牲を払うことは、神への信仰を実践で示すことだったのです。しがらみから解放され、自由に受け取り、自由に与えたのです。
私は TBC のミニストリーに参加されている方々に心から感謝申し上げます。TBC のミニストリーは神に対する愛、お互いに対する愛で溢れています。まさに信仰を実践する生きた証です。皆さんの連日の行いに感謝申し上げます。
福音の教えに基づき、寛大なるイエス・キリストの愛で満ち溢れていることが、まさにミニストリー、伝道活動だと言えます。それは、私たちのあらゆる人間関係にもかかわるべきです。あなたの周りの最も親しい人に恵みを与えることから始めてください。妻、子ども、親友、両親、ルームメイト、仕事の同僚、日々の生活の中で出会う人々に対して恵みが与えられますように。何の見返りを期待することなく、恵みを与え続けるのです。人々がそれに慣れて、それがあなたの人間関係の一部となるほどまでに。

これが新しい律法なのです。今まで慣れ親しんだこの世的なルール、すなわち、「**自分がこうすれば、相手はこのようにすべき**」といった概念から離れるのです。それは恵みでもなければ愛でもありません。仕事上の契約に過ぎず、律法であり、呪い―すなわち死です。
このようにあるべきです―イエス・キリストは私の罪の為に死んで下さったのだから、自分も人に対して同じような姿勢で何としてでも愛そう、伝道しようと。
私は前回、社会における孤立、隔離、拒絶に対する解毒薬についてお話しましたが、それらに対する解毒薬、呪いに対する解毒薬が何であるかわかりますか？あなた、つまり神の子が、十字架上で死んで下さったイエス・キリストの教えを、自らの行動で映し出すことで、あなたは呪いから恵みになるのです。
周りの人にこのようにして愛を広めるあなたの姿は、あなたが十字架にかかったように見えるのです。あなたが生きているのではなく、イエス・キリストがあなたの中に生きているようになるのです。あらゆる人間関係において、自分が十字架にかかった姿があるべきなのです。しかし、信仰を持つ人々がなぜ、ガラリヤ人のように信仰以上に必要なものがある、と思い込んでしまうのでしょうか。

本当の問いが見えますか？

クリスチャンであり続けるためにするべきことは何もない、と信じることが難しい理由について前回お話しました。その理由は、お互いを許し合い、受け入れようとしないからだと言えます。さらに奥深いものがあるのです。
信仰によってのみ義とされるとはすなわちどういうことでしょうか。本当のところ、何を意味するのでしょうか。法的なことを言っているのでしょうか。
究極の質問はこれに尽きます。**神は私を愛しているのだろうか？天の父なる神は本当にありのままの私を愛して下さっているのだろうか？**これこそが私たちが本当に求めている質問ではありませんか？もしも、天地創造主の神が私を拒み、気に留めて下さっていなければ何が残るのでしょうか。それは、永遠の呪いです。

詩編 37:22

22 主に祝福された人は地を受け継ぎ／主に呪われた者は絶たれる。

なぜこのような質問をするかというと、私たちは自分の姿を鏡で見た時、そこに醜い姿を見るからです。そこには邪悪や呪いが見え、自分の姿が嫌になるのです。肉に支配される暗闇がそこにはあり、清く美しく全能の神がそのような私たちとは関わらないだろうと信じ込んでしまうのです。

ローマの信徒への手紙 1:18

18 不義によって真理を妨げる人間のあらゆる不敬虔と不義に対して、神は天から怒りを現されます。

とあるように、私たちは神が愛するだけでなく、不義の人間に怒りを注がれる方であることも知っているので、それを非常に恐れているのです。これは神からの呪いでもあるのです。
私たちは、今まで何度となく、神はありのままの私たちを愛していないと聞いてきました。神は不義を働く人（罪人）を天国に入れることありません。**しかし、イエス・キリストは違います。**イエス・キリストはありのままのあなたを受け入れて下さるのです。十字架に境界線はないのです。信仰さえ持っていればいいのです。それ以外にしなければならないことは何もないのです。
1835 年にシャルロット・エリオットによって作曲された讃美歌「**いさおなきわれを**」の歌詞をよく聞いて下さい。
いさおなき我を イエス招き給う 罪とがの汚れ 洗う由なし イエス清め給う み許に我ゆく
これはまさに、イエス・キリストを通して神が私たちに下さった愛の証なのです。イエス・キリストは私たちの罪の犠牲となられ、私たちを愛し永遠の恵みを下さることで、私たちを永遠の呪いから解放して下さったのです。

ガラテヤの信徒への手紙 3:26-29

26 あなたがたは皆、真実によって、キリスト・イエスにあって神の子なのです。27 キリストにあずかる洗礼（バプテスマ）を受けたあなたがたは皆、キリストを着たのです。28 ユダヤ人もギリシア人もありません。奴隷も自由人もありません。男と女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからです。29 あなたがたがキリストのものであるなら、とりもなおさず、アブラハムの子孫であり、約束による相続人です。

この 26 節の聖句がこの章の鍵となります。

26 あなたがたは皆、真実によって、キリスト・イエスにあって神の子なのです。

この世の律法とは真逆なのです。

ヨハネによる福音書 6:35

35 イエスは言われた。「私が命のパンである。私のもとに来る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は決して渇くことがない。

イザヤ書 55:1

1 さあ、渇いている者は皆、水のもとに来るがよい。／金のない者も来るがよい。／買って、食べよ。／来て、金を払わず、代価も払わずに／ぶどう酒と乳を買え。

イエスは来なさいと言っています！呪いを解いたイエスの元に来なさいと言っています。イエス・キリストと一体になるということは、父なる神からイエス・キリストを通して与えられる恵みを受けとることなのです。神の王国のなかにいるとき、イエスのもとにいれば法のシステムなど関係なくなるのです。聖霊によって信仰に生きてさえいれば。何故ならば、イエス・キリストは十字架に打ち勝ち呪いを解いたからです。
こうすればあれが与えられる、というのではありません。神に対して、私たちが受けた恩義を返すことなどできるはずがありません。神が私たちに一人子であるイエス・キリストを下さったことは、私たちが望む以上のことだったのです。

ヨハネの手紙一 1:9

9 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。

まさにこれが神と結ばれた約束なのです。呪いから解放されるのです。

クリスチャンの皆さん、神の前に義として立つことができるのは恵みによる信仰だけなのです。神の子イエス・キリストに基づく信仰を持つことで、神の愛を受け取ることができるようになるのです。そうでなければ、神の怒りの呪いを受けることになります。良い行いを施すことで神に受け入れてもらうことはできないのです。それなりに良い行い、仕事、話し方、助け方、与え方、ミニストリーの仕方で救いを求めようとする律法を負わされた生き方は、神にとって何の意味も持たないのです。

ヨハネの手紙一 4:19
19 私たちが愛するのは、神がまず私たちを愛してくださったからです

父なる神があなたを愛して下さるのは、あなたの行いによるものではなく、神が愛だからなのです。ですから、信仰によってのみ生き、未来の神の栄光に希望を抱き続け、神と他者とを永遠に愛し続けることを約束して下さい。イエス・キリストがあなたの内に生きておられることを証明して下さい。呪いがイエスの十字架によって打ち負かされたことを示して下さい。あなたの信仰に基づく生き方を見て、人々がイエス・キリストを五感で感じられるようにして下さい。あなたを通してイエス・キリストの恵みを周りの人に伝授して下さい。

ローマの信徒への手紙 8:14、8:16
14 神の霊に導かれる者は、誰でも神の子なのです。
16 この霊こそが、私たちが神の子どもであることを、私たちの霊と一緒に証ししてくださいます。

私には皆さんが、今どのように導かれているかはわかりませんが、もし導かれているのであれば、それは真実の福音を信じることによるものでなければなりません。信じる者に神の恵みがありますように。それが呪いから解放される唯一の方法だからです。
もし今日、イエス・キリストをあなたの王として、永遠の相続、救い主として受け入れる決心がついたならば、私たち牧師に話に来て下さい。お祈りします。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0323jp

★クラス 201
霊的成長について
1月22日（日）13：00～17：00
参加条件
クラス 101 を修了し、メンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター
月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

3．日本語字幕作成/オペレーター
月1回～土曜日16時～
プロプレゼンターというソフトで翻訳された原稿を字幕に落とします。操作は簡単で1回のトレーニングで作成できるようになります。作成に1時間くらいかかります。その後19時からの字幕オペレーターもお願いします。

4．日本語レイアウト&印刷（女性募集）
月1回～土曜日16時～
TBC に来て作業します。この今見ている紙を作成してもらう作業です。ひな形に翻訳された原稿を入れて、読みやすくレイアウトし、印刷してもらいます。MS WORD が使える女性を募集しています。英語力不要
連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org